

今号のトピックス

- 北陸新幹線金沢開業目前
誘客対策が活発に



議場管理室では、議会の様子をリモートカメラで撮影したり、音響や照明を調整したりしています。撮影・録音した議会の様子は県議会ホームページで公開しています

第11号

県議会の活動を伝える広報紙

目録 だより 県議会

いしかわ



かきつばた
杜若像

石川県の代表的な伝統芸能のひとつである能の「杜若」の舞い姿を表したものであり、昭和28年、広坂旧県庁舎の議場に設置され、以来、半世紀にわたり論戦を見守ってきました。現在は、議会庁舎1Fのエントランスホールに飾られています。

2015.3.14 金沢-東京開業

北陸新幹線金沢開業目前 誘客対策が活発に



議題 その1

アンテナショップ 「いしかわ百万石物語・江戸本店」

昨年10月8日、東京・銀座2丁目に首都圏の事業展開の拠点となるアンテナショップ「いしかわ百万石物語・江戸本店」がオープンしました。

Q.1

アンテナショップは店内の販売だけでなく、県産品の販路拡大や新規需要開拓も重要だと思う。商品選定に対する考えを聞きたい。

A.1

アンテナショップは、県の魅力を発信し、石川のファンを拡大し、誘客につなげることが役割だ。食品、酒、伝統工芸品など、地域と業種のバランスにも配慮し、石川ならではの商品を選定していきたい。

(平成26年6月17日 予算委員会)

Q.2

誘客や移住・定住促進を含め、石川の魅力をトータルで発信する拠点となるよう、取り組むべきだ。意気込みを聞く。

A.2

銀座周辺はアンテナショップの激戦区である。埋もれることのないよう、伝統工芸品を随所に使うなどしつらえや演出にも石川らしさを盛り込んだ。また、観光コンシェルジュ、移住・定住相談に乗る専任スタッフ、販路開拓アドバイザーを配置し、石川の魅力を余すことなく、継続的に発信していきたい。
(平成26年9月17日 定例会)

多彩な機能を備えた 戦略的拠点に

議論を
踏まえ こうなった

アンテナショップは、二重ひさしの瓦屋根、加賀友禅ののれんなど、石川の伝統的な町家をイメージしています。面積は有楽町にあった旧ショップの3倍となり、野菜や地酒、和菓子、伝統工芸品、生鮮品など幅広い県産品を扱っています。

2階の観光案内コーナーには専任の観光コンシェルジュが常駐し、石川の旬の情報をきめ細かく発信。定住・移住のコーディネーターや県内企業が開発した商品の販路開拓アドバイザーもおり、首都圏の戦略的拠点として多彩な機能を備えています。



石川の魅力を
首都圏に発信
しています



3月14日の北陸新幹線金沢開業までのカウントダウンが進んでいます。大都市圏とふるさとをつなぐ大動脈の完成は、県内に観光客やビジネス客を呼びこむ絶好のチャンスです。新幹線開業後の誘客促進で大きな柱となる東京・銀座のアンテナショップや観光列車に関して、石川県議会ではこれまで活発な議論が繰り広げられました。

Q.1

観光列車の導入をJRなどの鉄道会社に積極的に働きかけていくべきではないか。



A.1

JR九州が運行する観光列車などは、大きな脚光を浴び、新幹線の沿線外への観光客の増加につながっている。観光客を迎える地元と一体となり、実現に向けて積極的に取り組んでいきたい。

(平成25年6月18日 定例会)

議題 その2

観光列車 「JR七尾線・のと鉄道」

新幹線開業後は、その効果を県内全域に波及することが大切です。そんな中、観光列車は、観光客を新幹線沿線以外に誘う手段として注目されています。

春にのと鉄道、 秋にJR七尾線で運行開始

議論を踏まえ こうなった

導入を働きかけた観光列車は、今年4月29日からのと鉄道、10月からJR七尾線でそれぞれ運行を開始します。のと鉄道を走るのは「のと里山里海号」。車窓から世界農業遺産である能登の里山里海を眺めながら走る温もりと懐かしさを感じさせる観光列車で、週末や連休を中心に1日2～3往復、七尾一穴水間を運行します。

JR七尾線に採用されるのは、県内に残る風習「花嫁のれん」をモチーフに金沢一和倉温泉間で運転する特急列車です。「和と美のおもてなし」をコンセプトに、伝統工芸品の車内展示や和菓子・スイーツの車内販売に加え、地元住民による駅・車内でのおもてなしパフォーマンスも企画しています。

花嫁のれん



のと里山里海号



Q.2

のと鉄道とJR七尾線で観光列車の導入が決まった。ハードとしての観光列車を生かすためのソフト面の取り組みを聞く。



A.2

運行にあたっては、車内で能登ならではの食を提供したり、能登らしいおもてなしをしたりするなど、ソフト面も重要だ。事業者だけでなく、地元の盛り上げや協力が欠かせない。3月放送開始のNHK連続テレビ小説『まれ』を生かす地元の取り組みと連携し、魅力アップに努めていきたい。

(平成26年9月17日 定例会)

実のある対策で
石川を元気に!



決算特別委員会を開催 県の会計をチェック！

平成25年度一般会計・特別会計歳入歳出決算、事業会計決算を審査する決算特別委員会を昨年11月4日から7日にかけて4日間開催しました。

○決算特別委員会・・・県の予算が適切に使われたかどうかを審査する委員会です。委員定数は11人程度で、9月議会で設置し、閉会中に審査を行い、12月議会で審査結果を報告します。

一般会計 について

平成24年度に続き、基金を取り崩すことなく、収支均衡を達成できたが、今後、北陸新幹線敦賀延伸による負担なども見込まれることから、一層、健全な財政運営に努めてほしい。また、県が所有する遊休財産の早期売却など、歳入の確保に取り組むことも重要である。

特別会計 について

中小企業近代化資金貸付金や母子寡婦福祉資金^{かぶ}などで期間内に納入されなかった収入未済額には、滞納者の実情に適切に対応し、債権回収の努力を続けてほしい。

事業会計 について

県立中央病院は、高度専門医療の提供、患者目線でのサービス向上と同時に、民間委託の導入・拡大などによるコスト削減が大切だ。精神科医療の基幹病院である高松病院も、さらなる業務の効率化を期待する。水道用水供給事業では送水管の耐震化、港湾土地造成事業では保有用地の早期売却や有効利用を期待している。

ご存知ですか!?

県議会クイズ

Q1. 県議会の定例会は年に何回開かれる?

Q2. 県議会庁舎1階のエントランスホールに飾られている像の名称は?

応募
方法

クイズの解答とお名前、ご住所、電話番号をご記入の上、県議会事務局企画調査課までFAXまたははがきでお送りください。正解者の中から抽選で30名の方に北陸新幹線開業PRマスコットキャラクター「ひゃくまんさん」のオリジナルクリアファイルをプレゼントします。締め切りは平成27年2月末日(消印有効)まで。当選は発送をもって代えさせていただきます。



県議会の活動を伝える広報紙

県議会
第11号 だより

編集・発行 / 石川県議会(年4回発行)
平成27年2月5日発行

県議会へ傍聴や見学に行こう!

●お問い合わせ 石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
TEL 076(225)1036 FAX 076(225)1037

石川県議会ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/>

石川県議会

検索

県議会に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください。

県議会では、県民の声を取り入れた運営に力を注いでいます。ご意見やご提言は、下記のE-mailからもお送りいただけます。ぜひ皆さまの思いを、県議会に教えてください。

メールアドレス



gikai@pref.ishikawa.lg.jp